

夜を守るための屋外照明

適切な屋外照明の5原則

屋外照明が必要な時は、これらの原則を遵守し、光害の発生を抑制しましょう。

必要性	全ての照明は、明確な目的を持つこと。 照明の設置や交換をする前に、照明が本当に必要かをよく検討しましょう。照明を使うことで、周辺の野生生物や環境にどのような影響があるか、考えましょう。標識・縁石・階段などには、照明の代わりに反射材や自発光式の器具でまかなえないか、検討しましょう。
光の向き	必要な場所だけを照射するよう、向きを調節すること。 適切な覆いを付けたり、向きを調節することにより、必要な場所以外への漏れ光を抑制しましょう。基本的に照明は下向きに使用しましょう。
光の量	必要最小限の明るさで使うこと。 照明は必要最小限の明るさで使いましょう。反射光が夜空に漏れることを低減するため、路面状態にも気を配りましょう。
制御	必要な時間にだけ点灯すること。 タイマや人感センサを利用して、必要な時に点灯し、必要性が低い時には減灯または消灯を行いましょう。
光の色	可能な場合は、低色温度（電球色）の光を使うこと。 短波長の光（青・紫）の使用は必要最小限に抑えましょう。

照明は「必要な場所だけを、必要な量の明るさで、必要な時間にだけ」

Board approved February 27, 2020



北米照明学会



国際ダークスカイ協会